Ｒ8年度経営強化プラン推進委員会議事録

令和8年11月16日

１：推進委員会の開催

●令和５年12月に策定し、令和７年10月に一部改訂となった「滝川市立病院経営強化プラン」において、年度ごとに点検・評価を行い、その結果を公表することとなっている。

●令和７年度決算が確定したため、点検・評価のための委員会を開催した。

２：推進委員

●市立病院の運営について、第三者による点検・評価を行うため、病院の運営に深く関与する団体から推薦を受けた方を委員として選任している。

滝川市医師会	小西　勝人(委員長・当日欠席)
滝川市社会福祉協議会	山口　清悦(副委員長)
滝川市町内会連合会連絡協議会（変更）	今野　栄司
国際ソロプチミスト滝川	佐々木和代
北海道税理士会滝川支部	八幡　吉昭
滝川市役所（変更）	稲井　健二

滝川市立病院
松川院長 / 齊藤看護部長 / 小林診療技術部長 / 加藤薬剤部長 / 柳事務部長 / 金子事務部次長
倉本事務課長 / 青山医事課長 / 古山事務課長補佐 / 矢野医事課長補佐
畑原事務課経営管理係主任主事 / 野田事務課経営管理係主事

３：推進委員会の開催（令和８年11月16日（月）18時　市立病院２階講堂）

●滝川市立病院経営強化プランの進捗状況の報告
⇒令和７年度決算及び令和８年度決算見込における経営強化プランの進捗状況
・計画に対する達成度
・個別の取組状況
・経営強化プラン改訂後の経営改善の取組内容

●地域医療連携推進法人の設立について
⇒中空知地域の医療を未来につなぐため、圏域の６公立病院が参加し医療機能の分担・連携、人材確保・育成、医療資源の共同活用を進め、持続可能な地域医療提供体制を構築するための法人を設立することの経過説明を行った。

●その他（市立病院への意見等）
主な発言・質疑応答
委員：令和８年度当初の職員数は、例年よりも看護師の退職者が少なかったため増えたとのことだが、向こう５年の経営改善の中で、退職する職員が想定よりも少なかったら計画上大丈夫か。

病院：314床で稼働していた時から約３割患者数が減少しているにもかかわらず、現在の199床化となっても職員数はほぼ横ばいであることから、令和11年度までに10%の職員数の縮減が必要であると考えている。
患者数が減っている中で、職員数をスリム化することで初めて収益性が担保される。看護師数については、高等看護学院の学生も定員より少ない年度が続くので、適正な試験・採用を行った上で、入職者数も自然と抑制することができるものと考える。